

ポータブル温湿度計 Blarm

ブラーム

取扱説明書・保証書

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

輸入発売元 株式会社 ドリテック

〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

URL : <http://www.dretec.co.jp>

お客様相談センター

0120-875-019

受付時間：月～金 10：00～12：00, 13：00～16：00
※祝祭日および当社指定休日を除く

〈保証規定〉

- 保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常なご使用状態で故障した場合には本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地震等や異常電圧などの外部要因等による故障または損傷。
※ご使用上に生じる外観の変化。
- ※本書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
- ※本書のご提示がない場合。
- ※一般家庭以外（例として、業務用など）に使用された場合の故障および損傷。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- 電池は保証対象外です。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用して頂く場合がございますのでご了承ください。また、法令の定めのある場合を除き、事前の同意をいただくことなく、上記の目的以外には使用いたしません。

〈保証書〉

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。
本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店へご相談ください。

品番		O-289	
保証期間	対象部品	お買い上げ日より	保証条件
	本体	6ヶ月	持込修理
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		
	ご住所 お電話		
販売店	販売店名		
	ご住所 お電話		

■安全上のご注意

- 必ずご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する内容ですので、必ずお守りください。

⚠ 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
⚠ 注意	人が傷害を負う可能性及び物の損害の発生が想定される内容

⚠ 警告

- 絶対に分解・修理・改造をしない。
発火・感電・けがの原因になります。
- 通気口の穴に金属製のピンや異物を入れない。
内部の電気回路がショートして発火・感電・けがの原因になります。
- 本体を水につけたり、水をかけたりしない。
感電・ショートのおそれがあります。
- 異常・故障がある場合は直ちに使用を中止し点検・修理を依頼する。
発火・感電・けがの原因になります。
- 乳幼児の手の届くところに置かない。
誤飲・けがの可能性がります。

⚠ 注意

- 防水・防滴構造ではないため、湿気が多い場所や水のかかる場所で保管・使用はしない。
- 落としたり、ぶつけたりなど強い衝撃を与えない。
- 直射日光のあたる場所や、高温になる場所で使用しない。
- 本体の上に物を置いたり、上に乗ったりしない。

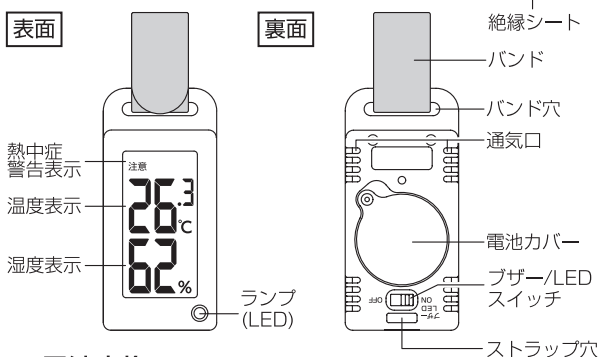
- 本製品は医療用・業務用ではありません。一般的な日常生活での温度・湿度の目安としてご使用下さい。
- 本製品を商取引や公に温度・湿度を証明する場合には使用しないでください。誤差による二次的な損害等に対し、弊社は一切の責任を負えないことをご了承下さい。

⚠ 電池について

- 電池の液が皮膚や衣服に付着したらきれいな水で洗い流し、目に入ったときはすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の極性（+・-）を正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 電池を廃棄するときは、自治体の指示に従う。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- 種類やメーカーが異なる電池を混ぜて使わない。
- 使用・保管時に電池の発熱や変形など今までと異なることに気づいたときは 使用を中止する。

■各部の名称

※本書に記載されているイラストはイメージです。
※ご使用前に絶縁シートを抜き取ってください。
(右図参照)



■電池交換 (電池寿命：約1年)

※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命は短い場合があります。
※ご使用環境によってアラーム音が鳴り続けた場合は、電池寿命が極端に短くなる場合があります。

1. 本体裏面の電池カバーをプラスドライバーでネジを回して取りはずします。
(ネジは紛失防止のため、電池カバーからははずれません。)
2. 古い電池を抜き取る。
取りはずしにくいときはミゾにマイナスドライバーなどの先が細いものを使い取り出してください。(図1参照)
3. 新しい電池を+側を上にして端子カバーの下側に差し込むように入れ、電池カバーの突起を電池ボックスの穴に合わせ、ネジを回して電池カバーを閉じる。(図2参照)
※電池を入れたときは「ピー」とアラーム音が鳴り、ランプが点灯します。



■ 熱中症とは (出典 ひと涼みしよう 熱中症予防 声かけプロジェクト)

熱中症は、気温が高いことなどで、身体の中の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体の調節機能が正常に働かなくなることによって引き起こされます。人の身体は、常に熱を作り出す一方、汗をかいたり、皮膚から熱を逃がすことで、体温の上昇を抑えています。このような体温の調節機能がうまく働かず、体内に熱がこもり、体温が異常に上昇することで熱中症は起こります。また、真夏日や熱帯夜が多い年は、熱中症で亡くなる人も増えます。一般的には、最高気温が25度を超えると患者が発生し、30度を超えると熱中症で死亡する人の数が増えはじめると言われています。

日常生活における熱中症予防指針

(出典 日本生気象学会「日常生活時における熱中症予防指針 Ver3」)

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28~31℃)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28℃)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般的に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

熱中症の症状と対策

- 注意：熱中症の危険は少ないですが、兆候に注意しましょう。スポーツなどの活動をしている方は、適度な水分補給を心がけましょう。
- 警戒：熱中症の危険が増しています。スポーツなどの活動をしている方はこまめに休息をとり積極的に水分補給をしましょう。激しい運動は30分おきくらいに休息をとみましょう。
- 厳重警戒：熱中症の危険が高まっています。スポーツなどの活動をしている方は激しい運動を避けてください。体力の低い方、暑さに慣れていない方は運動を中止してください。積極的に休息と水分補給を行ってください。
- 危険：熱中症の危険があります。特別の場合以外はすべての運動を中止してください。体温の上昇に注意し、十分な休息と水分補給を行ってください。

■ 日常生活での熱中症予防について

熱中症予防には水分・塩分補給をすることが大切です。こまめに水分・塩分補給ができるように、スポーツ飲料などの飲み物を持ち歩きましょう。特に幼児・学童や高齢者は、のどが渇く前に飲む、空調が効いた場所で休憩をするなどで熱中症対策をしてください。

・水分・塩分補給の目安

(出典 日本生気象学会「日常生活時における熱中症予防指針 Ver3」)

- 日常生活における水分補給：通常の生活では食事等に含まれる水分を除いた飲料として摂取すべき量は1日あたり1.2ℓを目安とする。
- 運動時や作業時の補給：水分の補給量は体重減少量の7~8割程度が目安となる。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意する。大量の発汗がある場合は、スポーツ飲料などの塩分濃度0.2%程度の水分を摂取する。
作業前：コップ1~2杯程度の水分・塩分を補給する(コップ1杯200ml.)
作業中：コップ半分~1杯程度の水分・塩分を20~30分ごとに補給する。
作業後：30分以内に水分・塩分を補給する。
- 飲酒時の補給：アルコール飲料は利尿を促進するので、飲酒後は水分・塩分を十分に補給する。
- 空調装置使用時の補給：空気が乾燥するので、こまめに水分・塩分を補給する。

・特に注意を要する事項

(出典 日本生気象学会「日常生活時における熱中症予防指針 Ver3」)

- 以下の項目に該当する場合は、特に注意が必要であり、温度基準域を下げた「注意事項」を適用する。本のみならず、周囲の人々の注意も必要である。
- 幼児・学童は体温調節機能が未発達であり、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。
 - 65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者は発汗能や口渇感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。
 - 肥満者は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。
 - 仕事や運動(スポーツ)に無理をしすぎると、頑張りすぎると人は熱中症を発症しやすい。
 - 基礎疾患(高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など)のある人、寝たきりの方は発症しやすい。熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人も発症しやすい。抗がん剤作用のある薬(鎮癌薬*、頻尿治療薬*、パーキンソン病治療薬*、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬、抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬)は発汗抑制を来す可能性がある。利尿剤は脱水を来しやすい。興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬*は体温調節中枢を抑制する可能性がある。*医薬品添付文書に、「発汗(あるいは体温調節中枢)が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」との記載のある薬品。
 - 発熱、下痢、二日酔い、睡眠不足等、体調不良の場合は発症しやすい。
 - 農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う場合は発症しやすい。
 - 急激に高温となった場合。例えば暑さに慣れていない6月以前、また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動(涼しい場所から高温の場所へ)の場合および気象変化などで急激に高温となった場合なども発症しやすい。

WBGTとは? (Wet Bulb Globe Temperature)

酷暑の環境下での行動に伴うリスクの度を判断するのに用いられる指標です。環境省ではこれを暑さ指数と称しています。人体の熱収支に影響の大きい湿度、放射、気温の3つを考慮しており、湿球温度、黒球温度、乾球温度の値を使って計算します。スポーツや高温の職場などでの熱中症等を予防するために国際的に利用されており、ISO 07243、JIS Z 8504などとして規格化されています。

WBGT指数表

■…危険(31℃以上) ■…厳重警戒(28~31℃)
■…警戒(25~28℃) □…注意(25℃未満) (単位: ℃)

		相対湿度 (%)																
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
気温 (℃)	40	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	39	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	38	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	37	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	36	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	35	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	34	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	33	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	32	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	31	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	30	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	29	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	28	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	27	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	26	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
	25	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■
24	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
23	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
22	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
21	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
20	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

■ 熱中症警告表示とアラーム音・ランプ点滅について

本製品は熱中症の危険性をアラーム音、ランプ点滅および液晶表示の点滅でお知らせします。

● アラーム音・ランプ点滅の設定方法

「プザー /LED」スイッチでアラーム音・ランプ点滅のON/OFFを切り替えることができます。

スイッチ ON:

熱中症が「厳重警戒」「危険」になると、液晶表示が点滅し、アラーム音とランプ点滅で熱中症の危険性をお知らせします。(下表参照)
※アラーム音とランプ点滅は連動しています。

アラーム音のみ・ランプ点滅のみでの設定はできません。

熱中症 (WBGT)	注意	警戒	厳重警戒	危険
アラーム音	鳴らない	鳴らない	約30秒間 間欠ビビビビ、ビビビビ、	約60秒間 連続ビビビビ...
ランプ点滅	光らない	光らない	アラームと連動して点滅	アラームと連動して点滅

スイッチ OFF:

熱中症が「厳重警戒」「危険」になると、液晶表示の点滅のみで熱中症の危険性をお知らせします。

● アラーム音・ランプ点滅の止め方

プザー /LED スwitchを OFF にすると、アラーム音・ランプ点滅を止めることができます。※アラーム音・ランプ点滅を止めた後も、「厳重警戒」から「危険」状態に悪化した場合及び、一旦「警戒」「注意」状態に改善し、再度「厳重警戒」「危険」になった場合は、アラーム音とランプ点滅でお知らせします。お知らせを止めたいときはプザー /LED スwitchを OFF にしてください。

■ 使用方法について

バックの留具、ペーパークー等付属のバンド等で本製品を取り付けてください。

⚠ 身体が密着する場所など取り付ける位置により温度、湿度が正しく表示されない場合があります。

⚠ 落としたり、ぶついたりなど強い衝撃を加えると故障の原因になります。

⚠ 乳幼児やペットが触れないところに付けてください。

■ 使用場所について

直射日光のあたる場所や、エアコン・暖房器具・加湿器などの近くを避け、風通しの良い場所でご使用ください。

⚠ 雨や水の当たる場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

■ 本体のお手入れ

- 本体の汚れは濡らせて固くしぼった布で汚れを拭き取ってください。汚れがひどい場合は台所用中性洗剤を少量含ませた布で拭き取ってください。
- 熱湯・アルコール・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。変色・変形・破損のおそれがあります。

■ 故障かな?と思ったら

電源が入らない

- 絶縁シートを取りはずしていますか?
- 電池がはずれていませんか?
- 電池の極性は正しく入っていますか?

「LLL」「HHH」「—」などの表示が出る

- 温度・湿度が表示範囲外です。
- ※温度が-10.0℃以下の場合は「LLL」、50.1℃以上の場合は「HHH」と表示され、湿度が10%未満の場合は「10%」、99%を超えた場合は「99%」と表示されます。
- ※温度が-0.1℃以下、50.1℃以上のときは湿度の数値は表示されず「—」と表示されます。

表示された数値がおかしい

- 初めでご使用になるときや設置場所を移動した場合は、数値が安定するまで時間がかかるため、同じ場所に30分~1時間ほど置いてから確認してください。
- 通気口がふさがれていると正確な測定ができません。
- エアコンの風が直接あたる場所や、加湿器などの近くに設置していませんか?

製品仕様 ※1

品番	O-289
品名	ポータブル温湿度計「ブラム」
使用電池	リチウム電池 CR2032×1個
電池寿命	約1年 ※2
表示範囲	温度：-9.9 ~ 50.0℃ 湿度：10 ~ 99%
精度	温度：0.0 ~ 40.0℃ ±1.0℃ 湿度：50 ~ 80% ±5% その他の範囲：±2.0℃ その他の範囲：±10%

※1 製品の仕様は改良などのため予告なく変更することがありますのでご了承ください。
※2 ご使用環境によってアラーム音が鳴り続けた場合は、電池寿命が極端に短くなる場合があります。